

2024年度 新宿駅周辺防災対策協議会 訓練を通じた検証会 進行資料

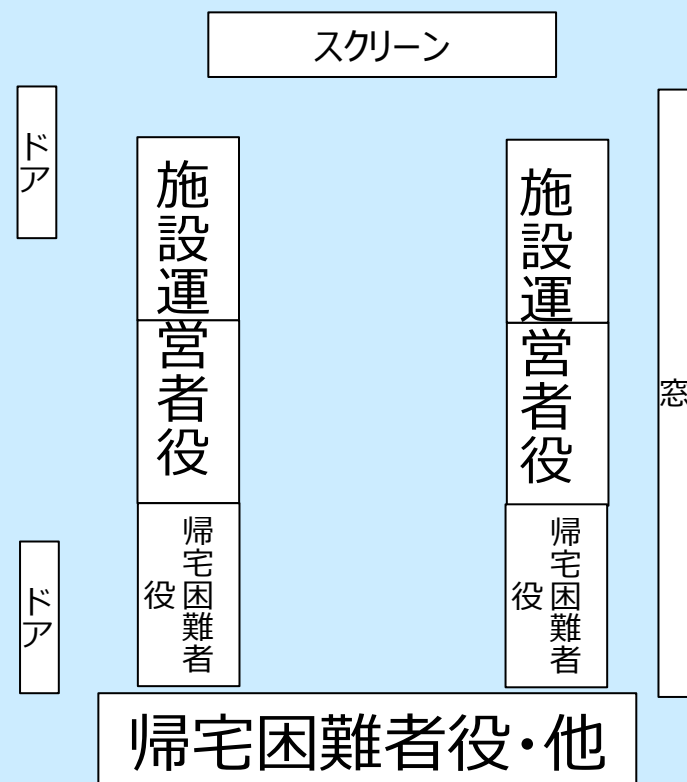
2025.2.18

新宿駅周辺防災対策協議会 一時滞在施設訓練WG



訓練当日の役割に応じ、以下に分かれてお座りください。

- 施設運営者役：スクリーンに向かって前側のエリア
- 帰宅困難者役：スクリーンに向かって後ろ側のエリア





2024年度 新宿駅周辺防災対策協議会 訓練を通じた検証会 進行資料

2025.2.18

新宿駅周辺防災対策協議会 一時滞在施設訓練WG



2011年東日本大震災（新宿駅周辺）
2011年3月11日 S O M P O リスクマネジメント株式会社撮影

1. ご挨拶

ご挨拶

本日のスケジュール

	時間(分)		項目		主担当
1	10:00～10:05	5分	あいさつ		新宿駅周辺防災対策協議会
2	10:05～10:15	10分	検証会の目的・進め方		一時滞在施設訓練WG (SOMPOリスクマネジメント(株))
3 ワー ク シ ョ ッ プ	10:15～10:30	15分	① 写真で振り返る	・テーマごとに訓練写真をみて、 個々人で振り返る	参加者 [進行・記録]一時滞在施設訓練WG
	10:30～11:15	45分	② 意見交換	・課題や気づきの共有 ・意見交換	
4	11:15～11:20	5分	総括		工学院大学 久田教授
5	11:20～11:25	5分	事務連絡・閉会		新宿駅周辺防災対策協議会

2. 検証会の目的・進め方

検証会の目的・進め方

2. (1)本日の検証会の目的

目的：訓練を振り返り、協議会で提供する一時滞在施設運営に関するマニュアルやツール類、今後の取り組みの改善につなげる。

本日の内容

①写真を見ながら訓練の振り返り

- テーマ別(お手元の配布資料に記入欄があります)
- 課題や気づきを個々人で抽出

②意見交換

訓練WG：洗い出された課題認識を整理し、マニュアル・ツールに必要な改善を加え、今後の取り組み内容を計画する

2. (2)新宿ルール実践のための行動指針 1/3

■ 目的

新宿ルールの実践力を高め、新宿駅周辺地域で発生する課題への対処にあたって、新宿駅周辺エリアの事業者や行政組織が一体となって対処するために、地域が共有すべき基本的な行動指針として2016年6月に制定

■ コンセプト

『できる人が、できる事を、みんなでやる』

■ 構成

『指針』と『指針に基づく行動』

■ 協議会における指針の位置付け

【発災時】

本指針を参考に活動する

【平常時】

本指針に基づく訓練を実施し、訓練結果による本指針の検証を行い、検証結果を本指針に反映し、本指針の実効性を高める。

新宿ルール実践のための
行動指針

平成 28 年 6 月
新宿駅周辺防災対策協議会

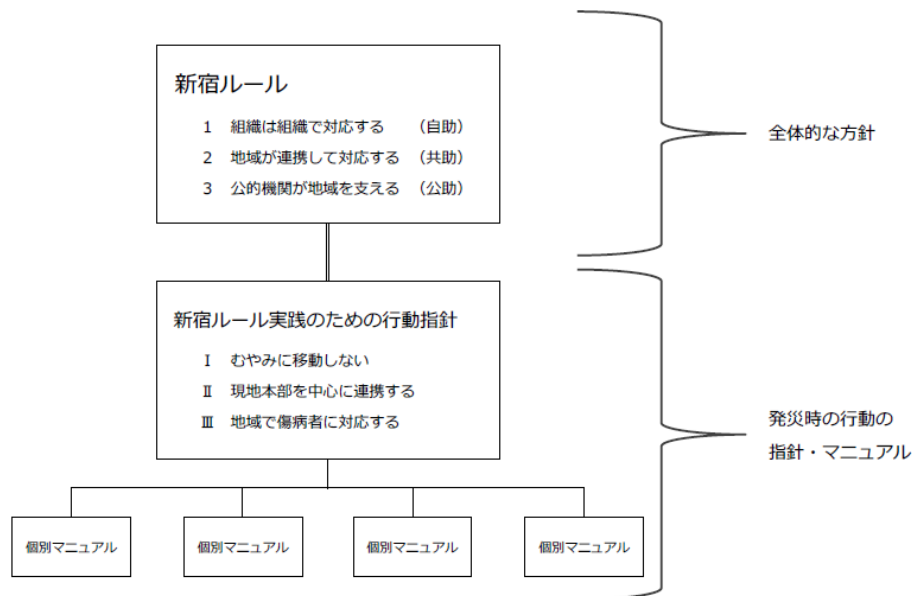
2. (2)新宿ルール実践のための行動指針 2/3

新宿ルール

- 1 組織は組織で対応する（自助）
- 2 地域が連携して対応する（共助）
- 3 公的機関が地域を支える（公助）

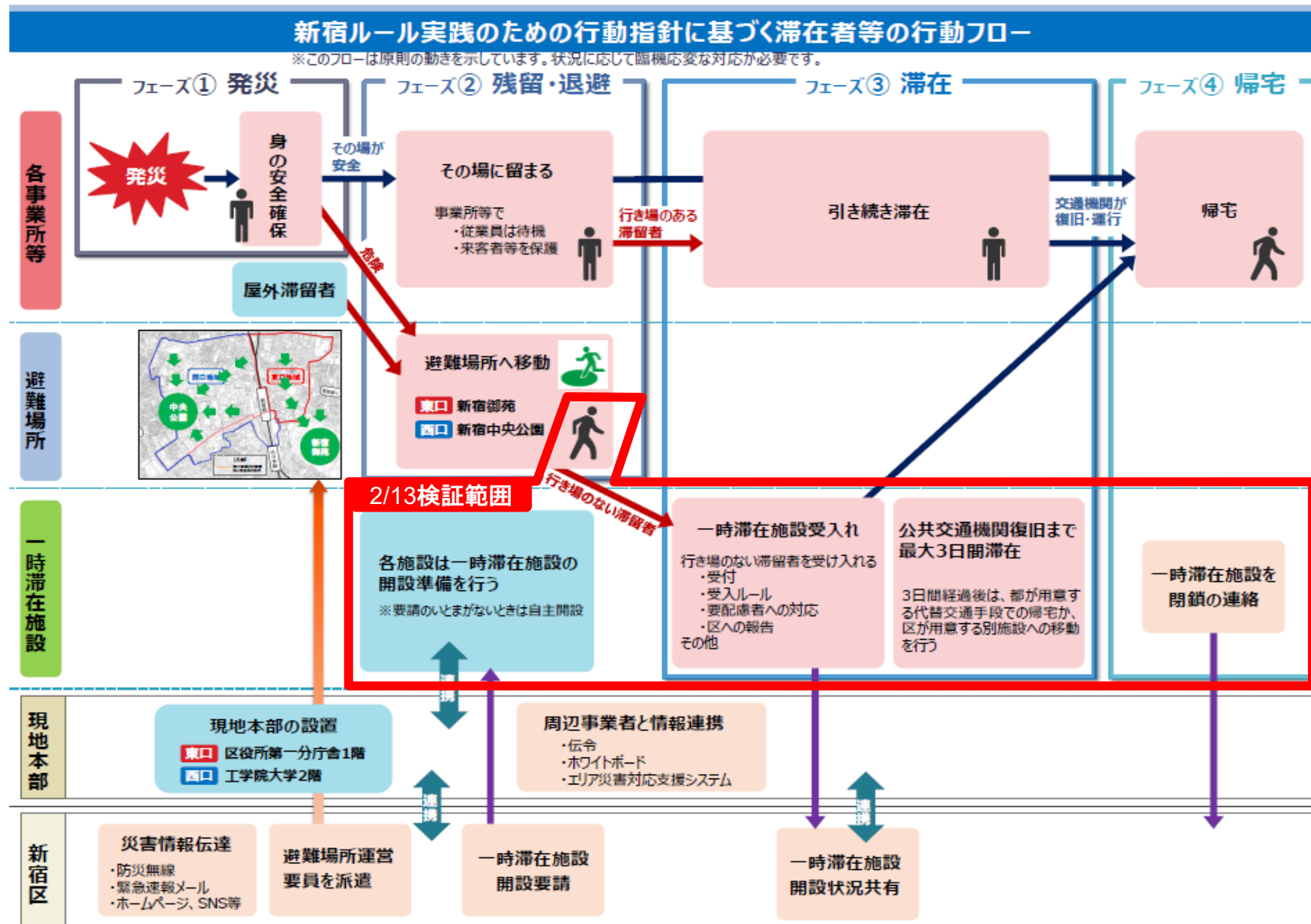
新宿ルール実践のための行動指針

- I むやみに移動しない
- II 現地本部を中心に連携する
- III 地域で傷病者に対応する



目 次		
指 針	コンセプト 『できる人が できる事を みんなでやる』	
	1	むやみに移動しない P. 1
	2	現地本部を中心に連携する P. 2
	3	地域で傷病者に対応する P. 3
指針に基づく 行 動	4つのフェーズ	① 発災 ② 残留・退避 ③ 滞在 ④ 帰宅 P. 4
	各主体の行動	A 滞在者 B 事業者 C 特定の組織・拠点等 P. 7

2. (2)新宿ルール実践のための行動指針 3/3



2. (3)一時滞在施設運営マニュアル 1/2

2023 年度訓練用

帰宅困難者一時滞在施設運営マニュアル

(感染症対応版)

本年度も、
「感染症対応
版」を検証対象
としました。

(感染症対応)補足

修正

仮) 2024 年 3 月

新宿駅周辺防災対策協議会

目次

1	基本事項	1
1.1	目的	1
1.2	運営手順の構成	1
1.3	対象とする帰宅困難者	1
1.4	検証・更新	1
2	運営体制	2
2.1	運営組織の体制(例)	2
2.2	各係の役割(例)	2
3	一時滞在施設の開設にあたって(平常時の準備)	3
3.1	施設開設計画	3
3.2	受入のための環境整備	14
3.3	施設閉鎖	16
4	新宿ルール実践のための行動指針に基づく主要拠点等の行動	17
5	一時滞在施設の運営手順	20

巻末資料① 用語集

巻末資料② Q&A

2. (3)一時滞在施設運営マニュアル 2/2

マニュアルは、大きく下記の3パートで構成されています。

行動指針に基づく実施行動

[illegible]

各行動の手順等

Figure 1 is a detailed Gantt chart illustrating the project schedule for the 2022-2023 fiscal year. The chart is organized into five main sections, each representing a different phase of the project. The tasks are color-coded and labeled with their respective start and end dates. A legend in the bottom right corner provides a key for the task status: blue for '計画' (Plan), green for '実施' (Implementation), and red for '完了' (Completion). The chart shows a complex sequence of tasks, with some tasks overlapping or occurring in parallel. The overall timeline spans from the beginning of the fiscal year to the end of the year, with specific dates marked for each task.

帳票等

[illegible]

一時滞在施設の運営要員が、他の関係拠点等の行動や連携すべき事項を確認する。

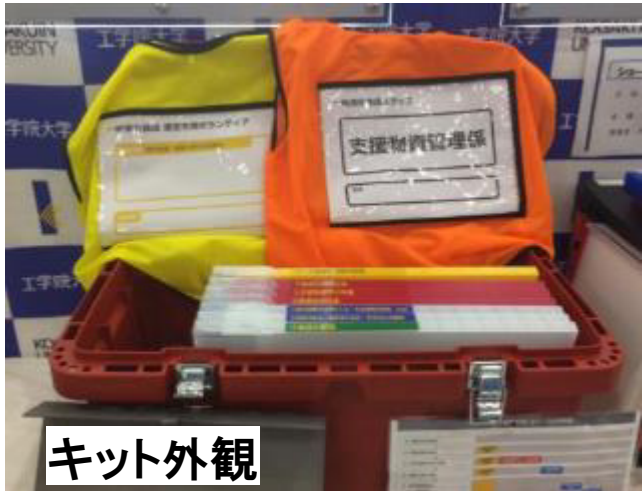
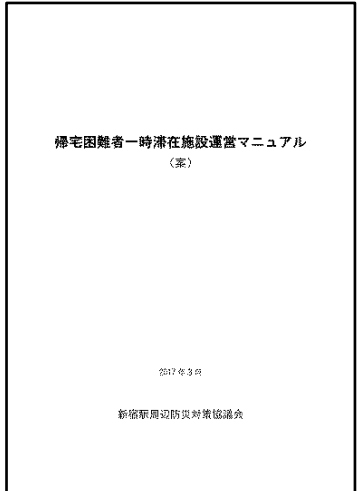
一時滞在施設での行動の手順が記載されており、施設管理者等が各行動の指揮をとるために用いる

手順に沿って、一時滞在施設内で掲示等するための帳票類。

2. (4)訓練で利用・使い勝手を検証したツール 1/2

■キットの概要

- 一時滞在施設の設営の支援が目的
- 一時滞在施設運営マニュアルをもとに、運営本部の立ち上げから帰宅困難者の受入、施設の閉鎖準備など、最低限必要な作業・備品を基本にパッケージ化



キット外観

【設置・運用】
運営本部の立ち上げ

滞在者の状況を管理するための本部を立ち上げます。

☐ ①本部の設置

区から開設の依頼を受け、運営本部の設置場所を決定し、看板を掲げる。

一時滞在施設

本部

Headquarters

☐ ②建物等の被害確認

施設周辺より建物の被害状況について情報を寄せ、関係本部、区に開設可否を報告する。

☐ ③担当係の招集

情報連絡係に各担当係メンバーの招集を指示する。

☐ ④開設手順の確認

作業チェックリストを張り出し、作業開始の準備を確認する。

☐ ⑤組織図を作り、掲示する

組織図を作り、各活動係のリーダーを決め、活動係員を記載していく。

手順書の例

（面に続く）

一時滞在施設

本部

Headquarters

一時滞在施設

受付

Information

トイレ

TOILET

掲示物の例

主要鉄道運行情報				
路線名	乗車時間	乗車料金	運行状況	備考
山手線	JY		全線 一部	
有楽町線	JA		全線 一部	
中央線(快速)	JC		全線 一部	
中央・総武線(各駅停車)	JB		全線 一部	
小田急線	OH		全線 一部	
京王線	KO		全線 一部	
京王新線	KO		全線 一部	
西武新線	SS		全線 一部	
都営新線	S		全線 一部	
大江戸線	E		全線 一部	
丸の内線	M		全線 一部	
副都心線	F		全線 一部	

受入承諾書

私は、「受入条件及び一時滞在施設利用ルール」に示す受入条件、利用ルールを承諾した上で、一時滞在施設を利用することを誓約します。

日付 年 月 日 本館内の各事項をご記入ください。

氏名(署名)

住所

連絡先(電話)

あなたの体調等について当てはまるものにチェックを入れてください。

①	<input type="checkbox"/>	かぜの症状がある(熱っぽい、咳が出る等)	
②	<input type="checkbox"/>	とてもしない(倦怠感がある)	
③	<input type="checkbox"/>	息苦しい(呼吸困難の症状がある)	
④	<input type="checkbox"/>	味や臭いを感じない(味覚や嗅覚に異常がある)	
⑤	<input type="checkbox"/>	以下に該当する 65歳以上 / 妊娠中 糖尿病 / 心血管疾患 / 呼吸器疾患 / 慢性腎臓病 / 高血圧 免疫抑制剤や抗がん剤の治療を受けている / その他配慮を要する事項がある()	
⑥	<input type="checkbox"/>	アレルギー体質である(原因物質:)	

以下のスキルをお持ちの方はご記入ください

専門技能・経験に関する知識等	言語に関するスキル・外国語や手話等
専門技能・経験に関する知識等	言語に関する知識等
専門技能・経験に関する知識等	言語に関する知識等

施設運営スタッフ使用欄

受入No.	受付時間	休園(日・月・年)	受入れペース指定

帳票類の例

2. (4)訓練で利用・使い勝手を検証したツール 2/2

②エリア災害対応支援システム

一般市民用サイト

<http://www.sip-gensai.jp>



防災従事者用

<http://www.sip-gensai.info/sip/bousaia>



避難場所情報

避難場所

施設名	避難日時	受入状況	マップリンク
区立 東横中央公園	2018.08.30 22:30	受入中	MAP
区立 東横公園	2018.08.30 22:30	受入中	MAP

一時滞在施設

施設名	避難日時	受入状況	マップリンク
区立 東横中央公園	2018.07.18 16:04	受入中	MAP
区立 東横公園	2018.07.18 16:04	受入中	MAP

避難場所・一時滞在施設情報

被害情報

集計情報

鉄道	名称	受入可	受入不可	一時滞在施設
全線停止	1件	災害発生時	0件	2件
一部停止	0件			1件
通常運行	11件			16件
確認中	1件			15件

被災情報等の集計・集約一覧 (防災従事者のみ)

鉄道運行情報

運行中：11路線、停止中：0路線、確認中：1路線

ユーザー登録路線情報

路線名	運行情報
JY 山手線	運行中
JC 中央線	運行中

すべての路線情報

路線名	運行情報
JY 山手線	運行中
JC 中央線	確認中
JB 中央総武線	停止中
JA 埼京線	運行中
KO 京王線	運行中
OH 小田急線	運行中
SS 西武新宿線	停止中

鉄道運行情報

- WEBブラウザを介して、以下の情報受発信が可能。情報の更新はメールで通知(事前登録)
 - 行動指針
 - 鉄道運行情報
 - 医療機関情報
 - 避難場所情報
 - 地震情報
 - 気象情報
- iOS、Android、Windowsを搭載したPC・スマートフォン・タブレットを用いて、Safari、Google Chrome、Internet Explorerで動作

※防災従事者用と一般市民用に同時にログインして使用することはできません。いずれかをログオフして使用ください。

3. ワークショップ

ワークショップ

① 訓練を写真で振り返る

3. (1)今年度訓練の目的と訓練の特徴

訓練時の記録をもとに、マニュアルの内容を検証/改訂し、その結果を部会又は総会等で報告/共有する。

特徴①

実際の帰宅困難者一時滞在施設を想定した実動訓練

一時滞在施設運営マニュアル(感染症対応版)で示した内容の検証のため、東急歌舞伎町タワーにおいて、大規模地震発災時の想定(帰宅困難者の属性や周辺状況等)に基づき、帰宅困難者の受入及び対応の実践的な実動訓練を行う。

特徴②

協議会メンバーが連携して施設運営等の実施

協議会メンバーから施設運営者役及び帰宅困難者役を募集し、自社での滞留者対応や自身が帰宅困難者になった場合の状況をイメージしながら、協力・連携して一時滞在施設の運営訓練を実施する。本訓練を通じて、新宿駅周辺地域における帰宅困難者対策のあり方についても検討する。

特徴③

初!

日本最大級の繁華街における帰宅困難者対応の検討

日本最大級の繁華街に立地する複合用途高層ビル内のエンターテインメント施設において、支援を要する帰宅困難者や元気な帰宅困難者等、**多様な属性の、数多くの帰宅困難者が受入を求める場合の対応のあり方**等を検討する実践的な実動訓練を行います。また、感染症対策を考慮するとともに、「帰宅困難者は貴重な人的資源」と捉え、受け入れた帰宅困難者から施設運営を支援するボランティアを募集します。

3. (2) 振り返りの方法

テーマごとに写真で訓練を振り返り、“気づき”を資料メモ欄に記載してください。

写真で示すテーマ

1. 受付～物資受け取り～滞在スペースへの移動
2. 施設からの情報提供
3. 帰宅困難者滞在中の対応
4. 施設の閉鎖
5. その他（施設レイアウト・役割分担・帳票 など）

振り返りの観点

- 一時滞在施設の運営面で、課題と感じたこと
- 帰宅困難者（施設に受け入れてもらう人）がもっと協力したり、事前に準備しておくべきだと思ったこと
- 良かった点、工夫されていた点 等

後ほど、テーマ別に“気づき”の共有・意見交換を行います。

テーマ1 受付～物資受け取り～滞在スペースへの移動 1/4



記入欄

テーマ1 受付～物資受け取り～滞在スペースへの移動 2/4



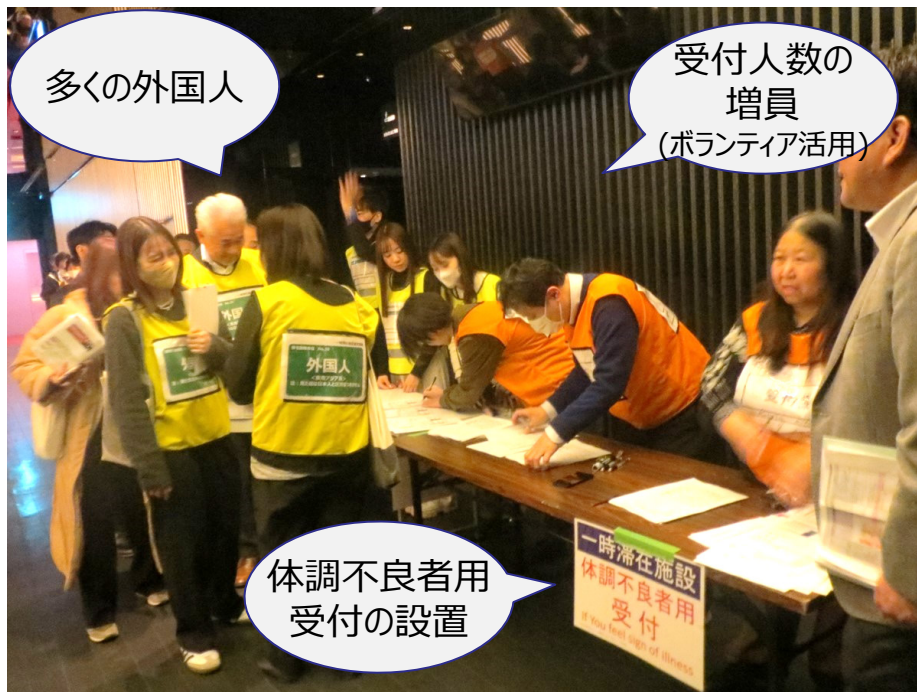
記入欄

テーマ1 受付～物資受け取り～滞在スペースへの移動 3/4



記入欄

テーマ1 受付～物資受け取り～滞在スペースへの移動 4/4



記入欄

テーマ2 施設からの情報提供 1/2



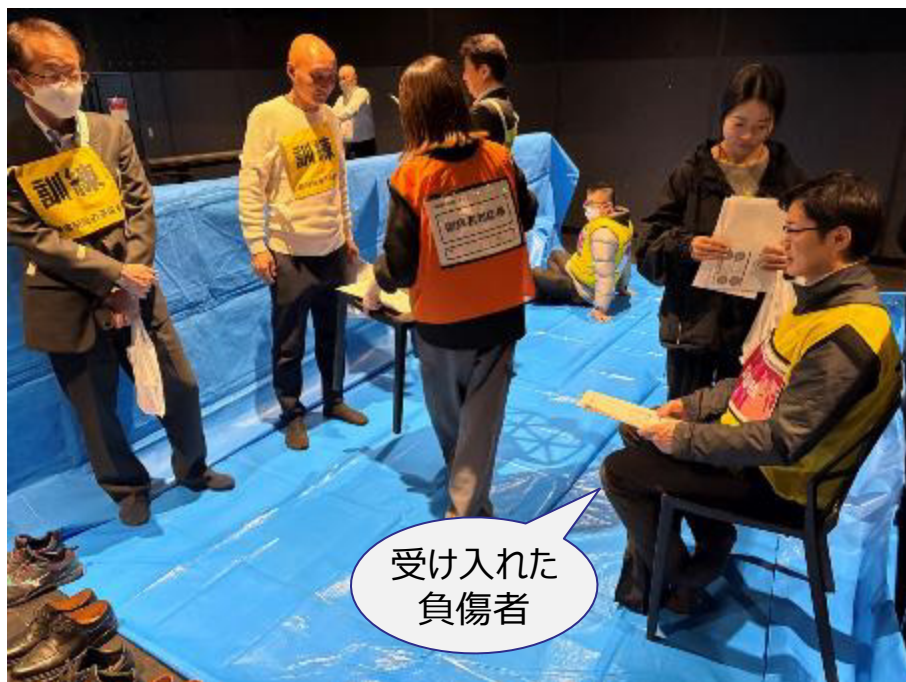
記入欄

テーマ2 施設からの情報提供 2/2

[illegible]

記入欄

テーマ3 帰宅困難者滞在中の対応 1/4



※日本語が話せない方は通常の滞在スペースに案内

記入欄

テーマ3 帰宅困難者滞在中の対応 2/4



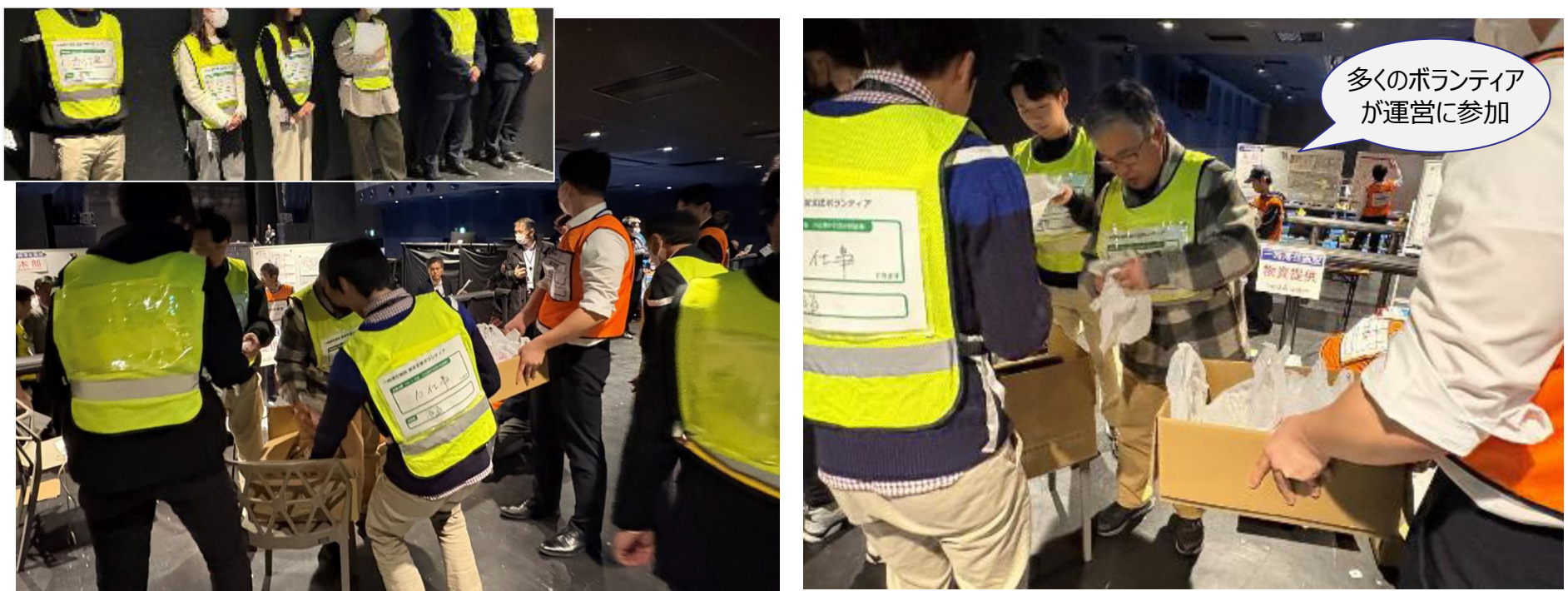
記入欄

テーマ3 帰宅困難者滞在中の対応 3/4



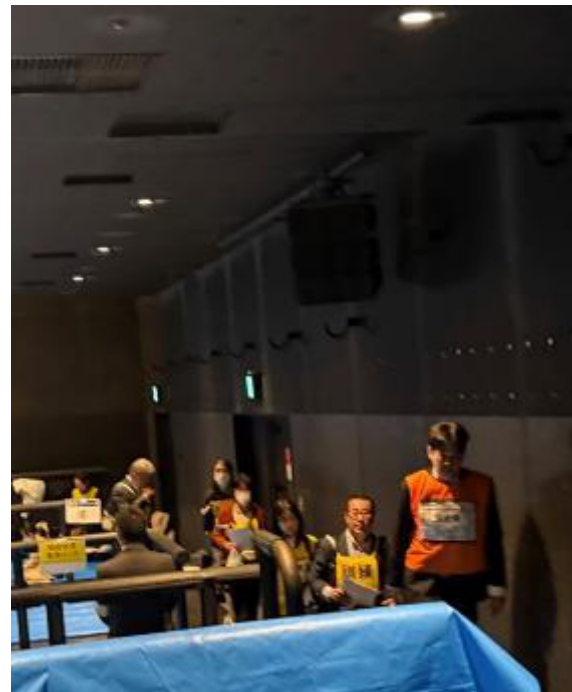
記入欄

テーマ3 帰宅困難者滞在中の対応 4/4



記入欄

テーマ4 施設の閉鎖 1/2



記入欄

テーマ4 施設の閉鎖 2/2



記入欄

テーマ5 その他(施設レイアウト・役割分担・帳票 など)

当施設の基本情報・基本方針一覧

要配慮者
優先の方針

エリア災害対応支援 システム入力事項	受入可否・人数	確認中 / 約 80 名 / 閉鎖 / 受入不可	(参考)現在
	施設状況	建物判定結果 (安全 / 危険 / 確認中)	火災の有無 あり / なし
	電気	使用可 / 使用不可 / 確認中	ガス 使用可 / 使用不可 / 確認中
	水道	使用可 / 使用不可 / 確認中	通信 使用可 / 使用不可 / 確認中
適宜利用者へ案内・ 現地本部と共有	受け入れ方針	トイレ	使用可 / 使用不可 / 確認中
		コメント欄	Exc. EV-73 空調-9
		一般滞在スペース	なし / あり (場所: Hall 7th-10th 6枚) 定員: 約 60 名
		要配慮者用スペース	なし / あり (場所: このうら) 定員: 約 10 名
		疑症状者用スペース	なし / あり (場所: PARC WINE 203) 定員: 約 10 ~ 15 名
		その他(外傷者)	なし / あり (場所: 石段) 定員: 約 5 ~ 10 名
		要配慮者の受入方針	疑症状者専用の動線の区分… なし / あり
		<input checked="" type="checkbox"/> 一般の方より優先して受入 <input type="checkbox"/> 一般の方と同様に受入 <input type="checkbox"/> 他施設を案内	疑症状者への基本的な対応… 滞り場所の提供 / 医療機関の案内 / (その他:)
		備考:	負傷者への応急手当… 可 / 否 簡易ベッド提供可否… 可 / 否
		提供設備	トイレ 通常通り利用可 / 便器に成形剤をセットして使用 / 仮設トイレを設置して利用 / マンホールトイレ 公衆電話 なし / あり (場所:) 充電用コンセント (なし) / あり (場所:)
		物資	受入時に配布 / その他 () 余剰あり / 残りわずか / 現地本部へ支援要請
		ボランティア充足状況	専門技能 (建築等) 充足 / 不足 / 募集停止 / 募集中 / 現地本部へ支援要請 避難誘導、救助・救護スキル 充足 / 不足 / 募集停止 / 募集中 / 現地本部へ支援要請 言語に関するスキル 充足 / 不足 / 募集停止 / 募集中 / 現地本部へ支援要請 サポート・支援 充足 / 不足 / 募集停止 / 募集中 / 現地本部へ支援要請

要配慮者
優先の方針



レイアウト
(計画)

記入欄

3. ワークショップ

ワークショップ (2) 意見交換

テーマ別にご意見を募りますので、挙手の上、積極的にご発言ください。

総 括

事務連絡・閉会